

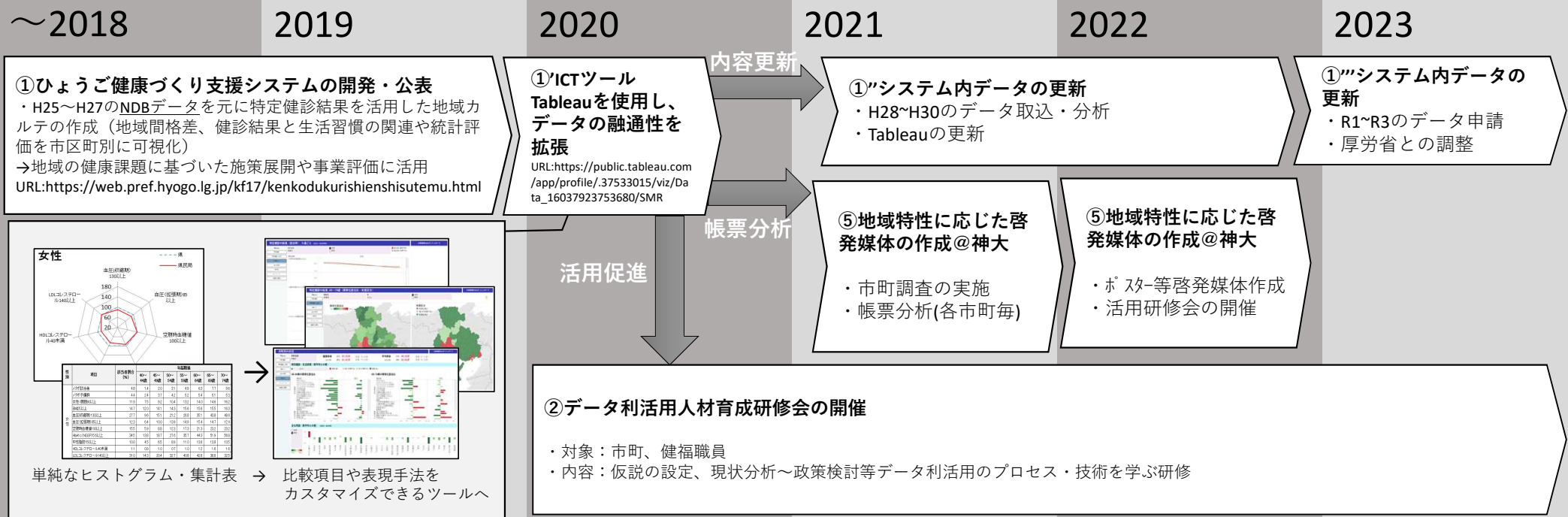
# 健診データを活用した健康づくり支援事業

保健医療部健康増進課 R4.10.13

全体目標 県民の健康寿命の延伸  
 達成目標 ①県民の健康意識の向上  
 ②県民の生活習慣の改善  
 ③県民の健診受診率の向上  
 ④医療・介護費用の抑制

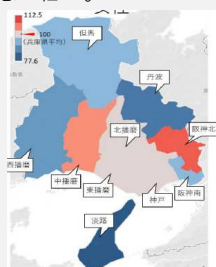
## 事業概要

兵庫県民の特定健診結果のデータを活用し、市区町別や圏域ごとの特性や現状分析に取り組む。分析結果については、県や市町において、データに基づく効果的な保健施策の立案への活用を促進し、市町におけるデータ利活用を支援することで県民の健康寿命の延伸を目指す。



## 研究結果

県平均と比較して、男性は北播磨、中播磨のSCRが有意に高く、淡路で有意に低い。  
 女性では阪神北、中播磨のSCRが有意に高く、阪神南、西播磨、丹波、淡路で有意に低い。  
 骨折発生比が高い圏域では、痩せが多く肥満が少なく、特に女性で顕著であった。  
 骨折リスク低減に向けた重点課題として、①適正体重の維持、②乳製品や大豆製品の上手な摂取方法を組み込んだ栄養バランス食の普及、③運動習慣の定着や受動喫煙対策に取り組む。



(図1) 大腿骨折発生率SCR (女性)

## ③健康ビッグデータ利活用会議の開催

- ・構成：学識、保険者、市町等
- ・検討課題：健康課題の要因分析・見える化、健康づくり施策の方向性、データの管理と活用方法、データを利活用できる人材育成等

## ④NDBデータを活用した兵庫県における大腿骨骨折に関する実態調査

要介護の主要原因である大腿骨骨折は、兵庫県は男女とも高い水準にある。発生状況を分析し、発生リスクと関係が深い食習慣や生活習慣との関連について調査を実施